

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）事業 効果検証シート（令和5年度分）

担当課	建設部土木課
-----	--------

交付対象事業名	特殊車両通行許可システム登録業務		
総合戦略での位置付け	事業費	計画額（円）	13,860,000
		実績額（円）	13,200,000

事業目的・概要	<p>【目的】 当市の都市計画マスタープランにおいて、当市南部地域における将来像の実現に向けた主要施策として、「物流・交流拠点の形成」が位置付けられており、地域の経済・活力の基盤となる産業拠点機能の強化を目指している。 本事業の実施により、申請者の負担軽減や、許可を出すまでに要する時間の短縮を図ることで、輸送の迅速化に対応できることとなり、それにより、大型貨物車両の計画的な運行に寄与することができる。 ひいては、物流企业等の活性化につながり、経済の好循環の一翼を担うことで、ヒト・モノが行き交う活気あふれるまちを目指す。</p> <p>【概要】 国土交通省は特殊車両通行許可申請のオンライン化を進めており、多くの申請者がオンライン申請を利用している。その中で事前にルートの確認、検索を行う際、道路管理者ごとに通行可能かどうか確認する必要があり、この作業をオンラインで行うことを可能とするために市道情報のシステム登録を行う。ルートの確認に関する負担が大きいことや、登録していないことにより、申請ごとに各道路管理者に照会が行われ、許可までに時間を要することなどによる不満の声があり、今後も申請件数の増加が見込まれる中、申請者の利便性の向上を図る。</p>

主な成果	システムに反映し、利用者が利用できるのは今年度からである。そのため、利用者にとっての成果はないが、システムを管轄する国土交通省の担当者からは補助制度を用い登録路線が飛躍的に多くなるため利用者の利便性の向上や照会件数の減少を期待されている。
------	---

重要業績評価指標 (KPI)	指標（単位）	基準値	2023年度		2024年度		2025年度			
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
			国土交通省が運営するシステムへの登録路線数（路線）	49	49	118	118			
当市への照会件数の削減（件）	500	364	100	100						

事業効果	効果	③実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にわずかに貢献した。
	理由	令和5年度にシステム登録した路線が実装されたのが、年度末から令和6年度にかけてとなるため、デジタル化による効果が十分に出るのは令和6年度以降となる。そのため、令和5年度の減少は本市に対する照会件数の自然減少も含まれるものとする。また、令和6年度はシステム登録する路線を増やすことから、更なる照会件数の減少を見込んでいる。

〈選択肢〉

- ①実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上に大きく貢献した。
- ②実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にある程度貢献した。
- ③実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にわずかに貢献した。
- ④実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上に繋がらなかった。

今後の方針	方針	①追加等さらに発展させる
	理由	登録データの反映により利用者のデジタル申請が可能となった後も、市の道路事業において現状と異なる道路形状となった路線や、未掲載路線のうち申請が多い路線を調査し、適宜路線情報の変更・追加を行うことで利用環境の向上を図る。

〈選択肢〉

- ①追加等さらに発展させる
- ②事業内容の見直し（改善）
- ③事業の継続
- ④事業の中止
- ⑤予定どおり事業終了

外部有識者からの評価	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化による行政運営の効率化に資するとともに、デジタル社会の形成に寄与する横展開型の交付金を活用した事業として評価できる。 ・今後は、オンラインシステムへの市道情報のデータ提供・更新を適宜適正に実施していく必要がある。 ・この事業と直接関係することではないが、交通量の増加にともない違法な通行を誘発する危険性がある。市民の生活の安全を脅かすことも危惧されるので、地元の警察と連携して交通安全対策の強化が求められる。 ・特殊車両通行許可申請に係る問合せの対応時間を大幅に減らすことができ、業務の効率化を図ることが期待できるが、登録したデータが実運用されるのが2024年度であるためどの程度の効果がでるのかは現段階では不明で今後の評価検討課題である。
------------	----	---